

大平洋金属株式会社
2021年3月期 第2四半期決算説明会

2020年11月17日

当社ホームページ

<https://www.pacific-metals.co.jp/>

お問い合わせ先

総務部（IR担当）TEL:03-3201-6681



1. 経営環境について	
（1）新型コロナウイルス感染症の影響について	4
（2）LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移	5
（3）世界のステンレス生産とニッケル需給見通し	6
（4）地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し	7
（5）ニッケル銑鉄（NPI）生産の動向	8
2. 2021年3月期 第2四半期決算実績	
（1）第2四半期決算実績	10
（2）連結経常損益分析	11
3. 2021年3月期 通期決算見通し	
（1）通期決算見通し	13
（2）国別販売先の動向	14
（3）国別販売見通し	15
（4）連結経常損益分析	16
4. 中期経営計画「PAMCO-2021」の進捗状況	
（1）主な重点施策の進捗状況まとめ	18
（2）鉱石調達について	19
（3）ESGへの取り組み	20
（ご参考）中期経営計画「PAMCO-2021」と実績値（予想値）との比較	21

1. 経営環境について



(1) 新型コロナウイルス感染症の影響について

販売面

- ・ステンレス鋼業界では新型コロナウイルス感染症の影響による急激な需要収縮も見られ、一部では回復基調を辿るものの、概ね厳しい状況で推移

調達面

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策の一環で、一部調達先国のニッケル鉱山が一定期間操業を停止せざるを得ない状況も見られたものの、操業・出荷状況は回復基調

生産面

- ・販売数量減少に伴い生産数量減少

LMEニッケル価格

- ・新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響に伴う経済活動の停滞等もあったものの、生産活動等の回復及び経済回復の期待感を背景に、緩やかな上昇傾向

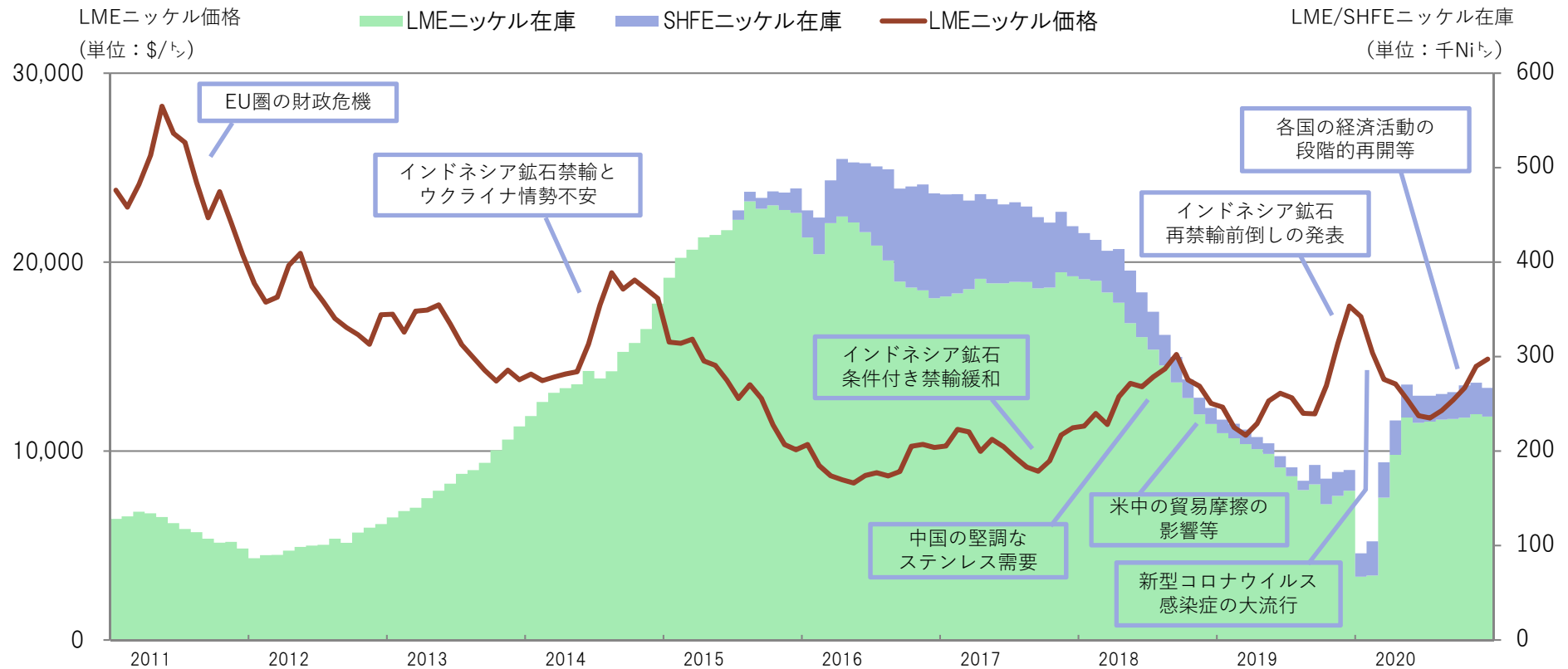
当社の対応

- ・感染予防対策として社員向けの行動指針を定め周知徹底
- ・在宅勤務（テレワーク）の実施継続
- ・海外渡航の原則禁止、国内出張の自粛継続

1. 経営環境について

(2) LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移

※当社調べ



業績の推移	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3
売上高 (百万円)	74,786	48,330	58,488	56,408	61,225	47,649	38,697	41,210	49,062	44,133
営業利益 (百万円)	18,494	153	2,168	△4,079	△7,787	△15,357	△3,070	△3,239	176	△1,879
経常利益 (百万円)	20,767	3,524	4,920	△1,838	△91	△12,283	△515	△203	3,451	972

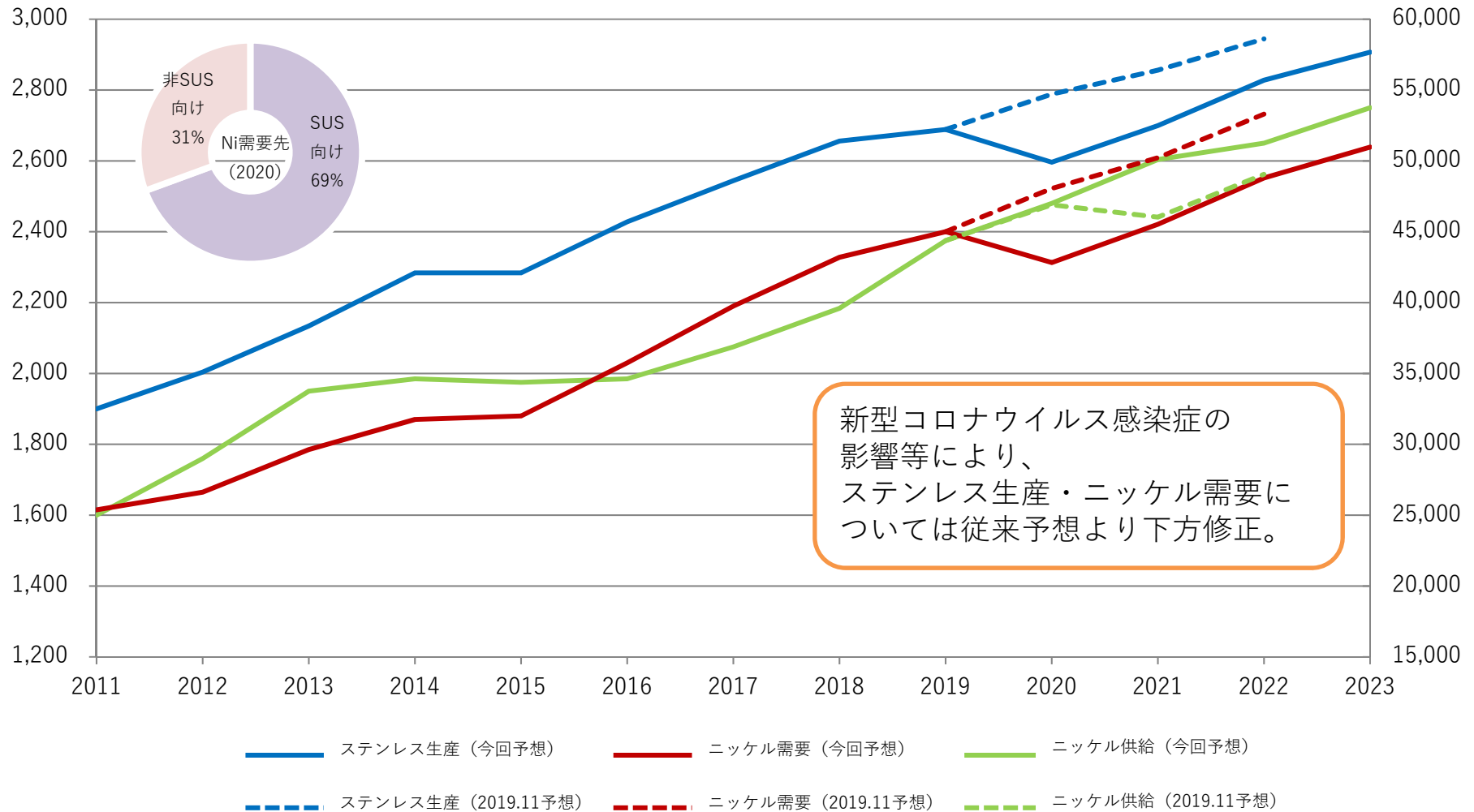
1. 経営環境について

(3) 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し

※当社調べ

ニッケル需給 (単位: 千Niト)

ステンレス生産 (単位: 千ト)



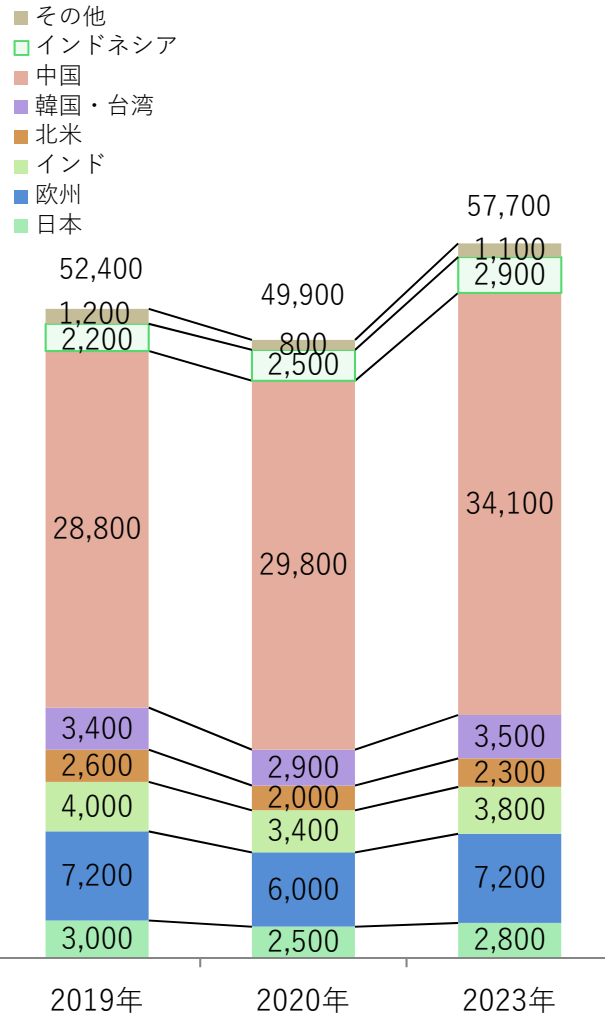
1. 経営環境について

(4) 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し

※当社調べ

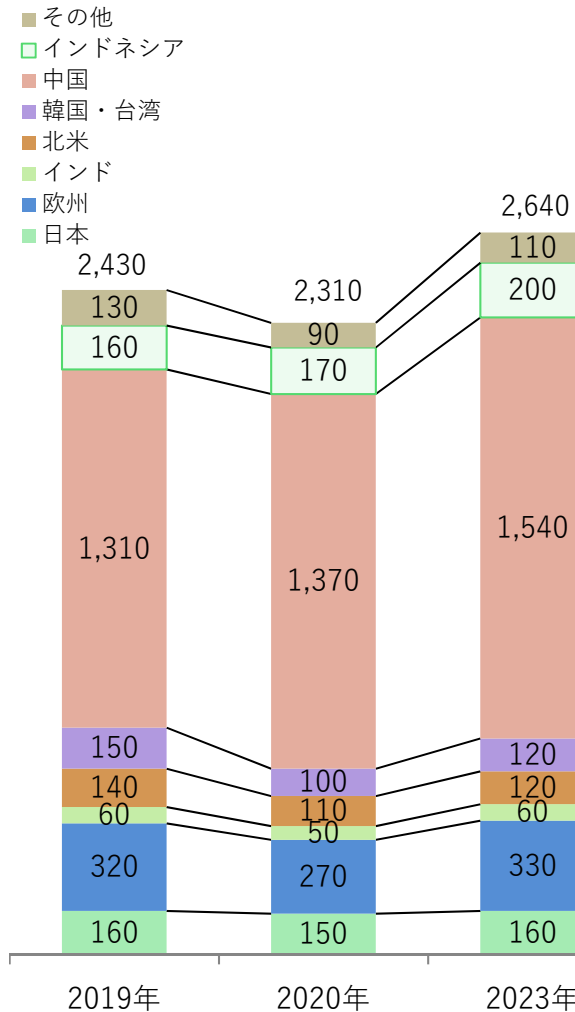
ステンレス生産見通し

(単位：千トン)



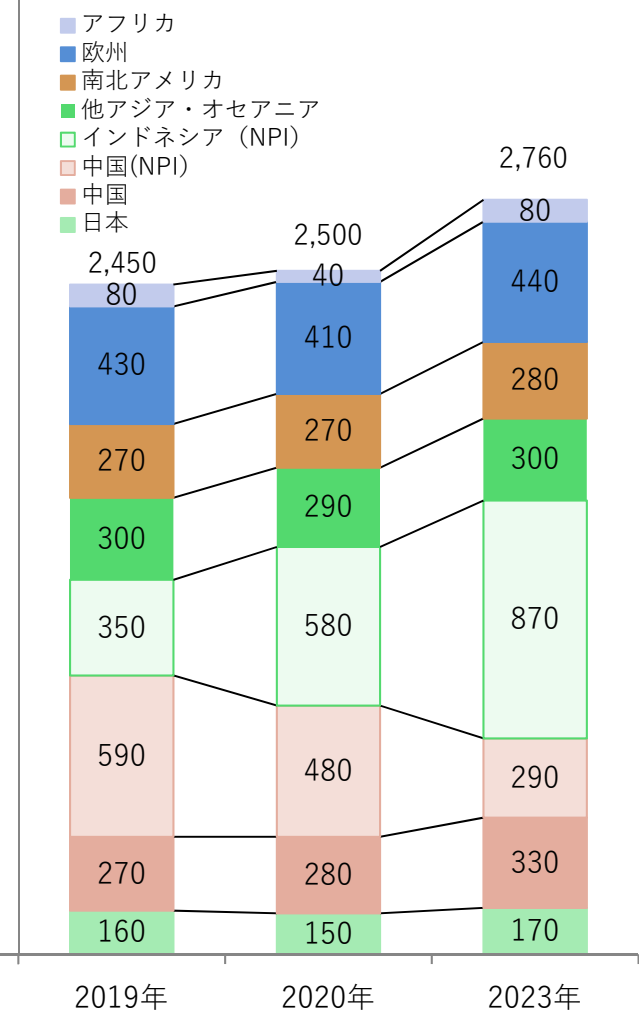
ニッケル需要見通し

(単位：千Niトン)



ニッケル供給見通し

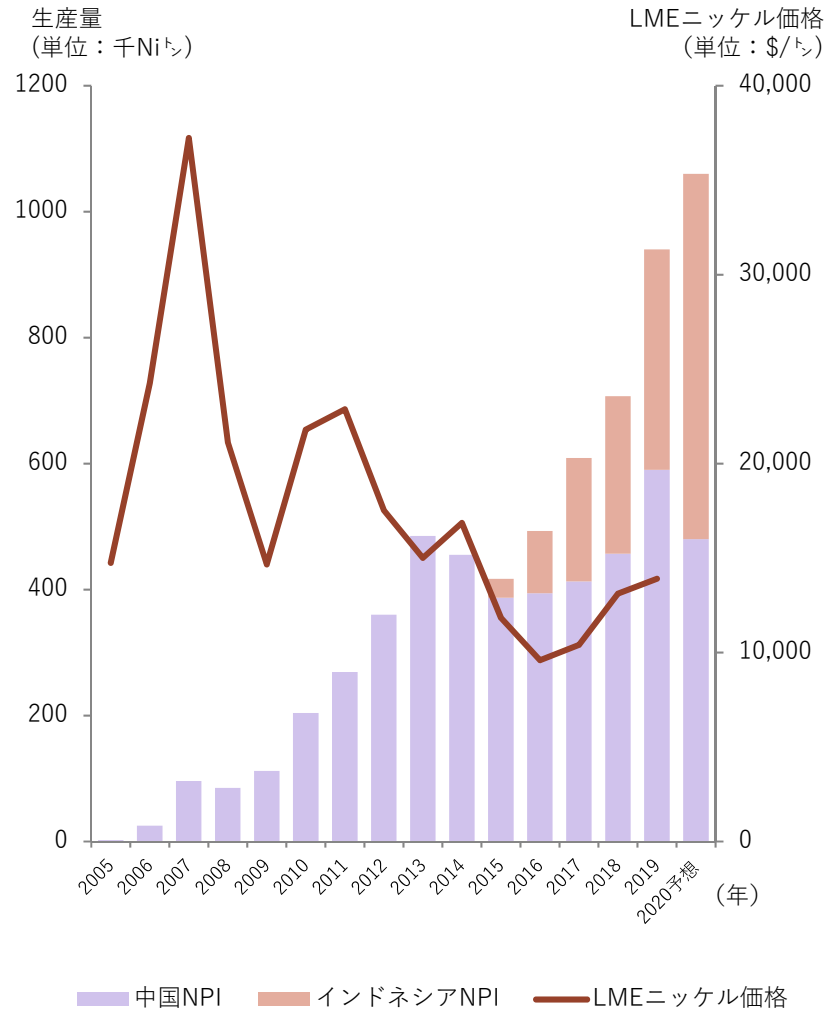
(単位：千Niトン)



1. 経営環境について

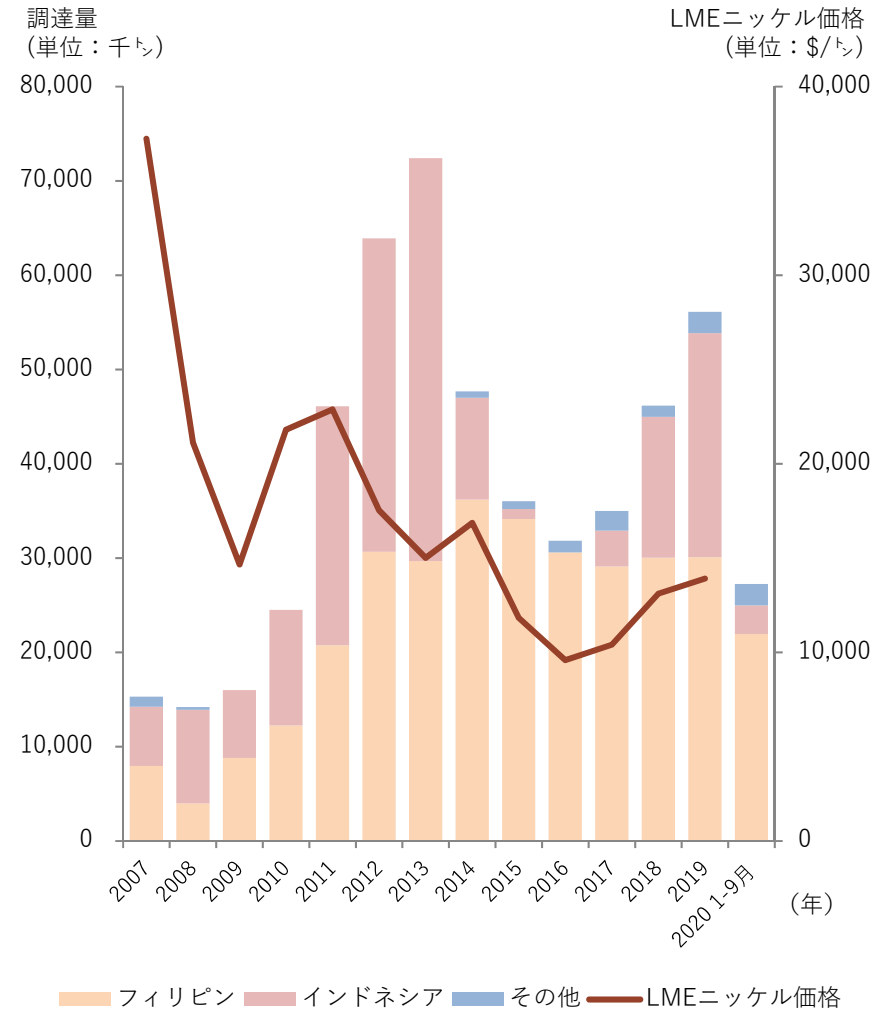
(5) NPI（ニッケル銑鉄）生産の動向

NPI生産量の推移

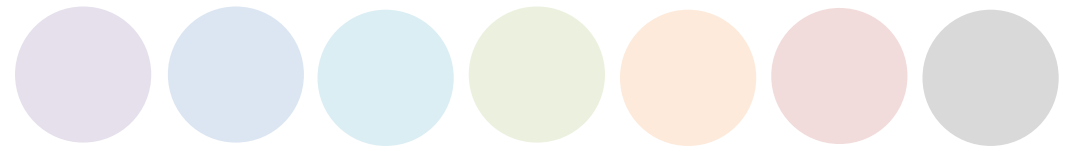


※当社調べ

中国のNi鉱石調達量の推移



2. 2021年3月期 第2四半期決算実績



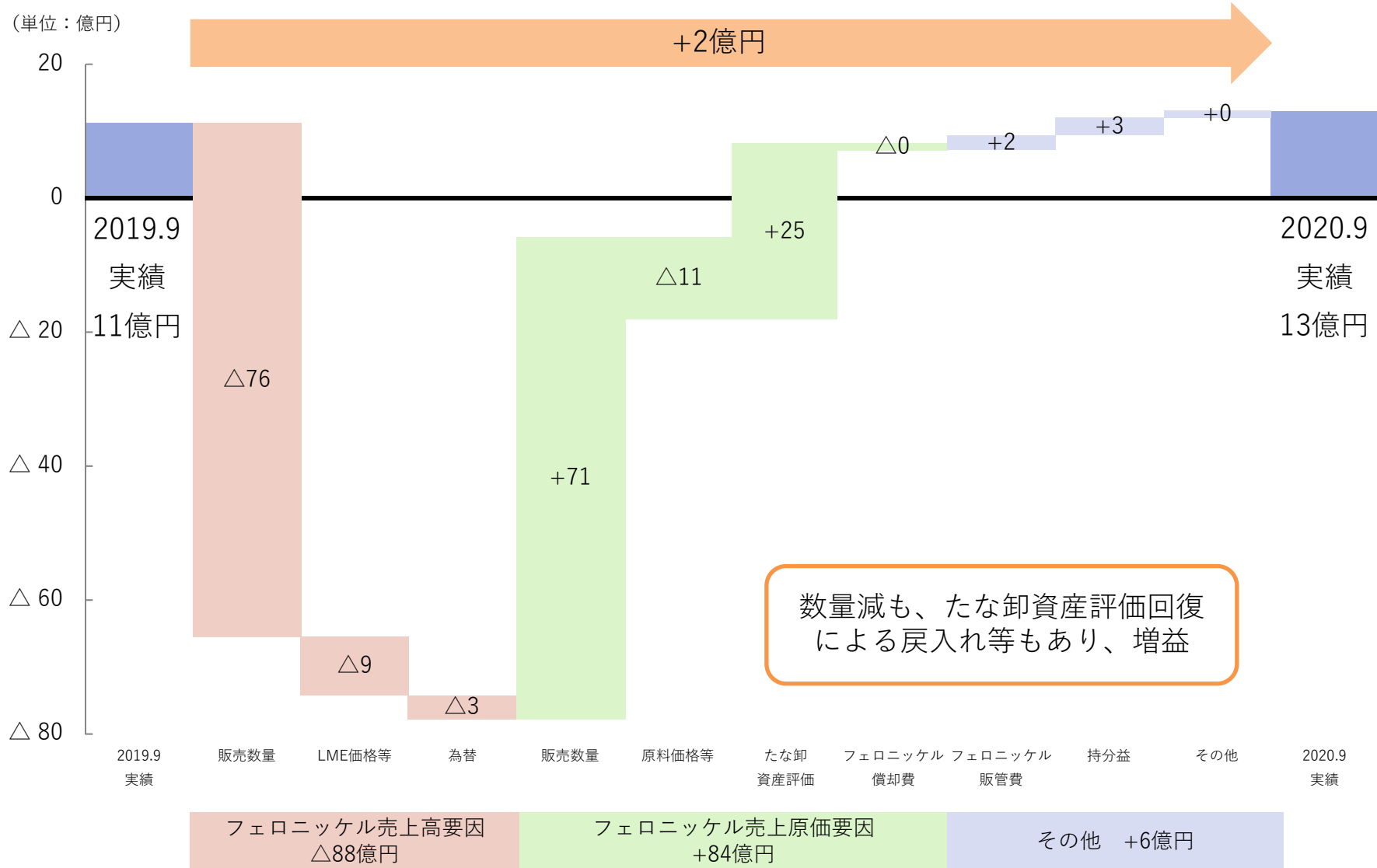
2. 2021年3月期 第2四半期決算実績

10

(1) 第2四半期決算実績

	2019.9 実績		2020.9 予想 (8/7発表)		2020.9 実績		対 前年同期比 (%)	対 8/7発表 予想比 (%)
	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)		
売上高	22,069	—	12,919	—	13,262	—	△39.9	2.7
営業利益	164	0.7	△994	△7.7	△53	△0.4	—	—
経常利益	1,122	5.1	△136	△1.1	1,293	9.8	15.3	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,016	4.6	△257	△2.0	1,260	9.5	24.0	—
(投資額)	132	—	—	—	304	—	130.3	—
(減価償却費)	159	—	—	—	180	—	13.2	—
	2019.9 実績		2020.9 予想 (8/7発表)		2020.9 実績		対 前年同期比 (%)	対 8/7発表 予想比 (%)
生産数量 (Niトン)	16,271		9,371		9,374			
販売数量 (Niトン)	14,889		9,380		9,674		△35.0	3.1
適用LME (\$/トン)	13,007		12,632		13,095		0.7	3.7
[適用LME (\$/lb)]	[5.90]		[5.73]		[5.94]			
適用為替 (¥/\$)	108.52		108.20		106.06		△2.3	△2.0

(2) 連結経常損益分析



3. 2021年3月期 通期決算見通し

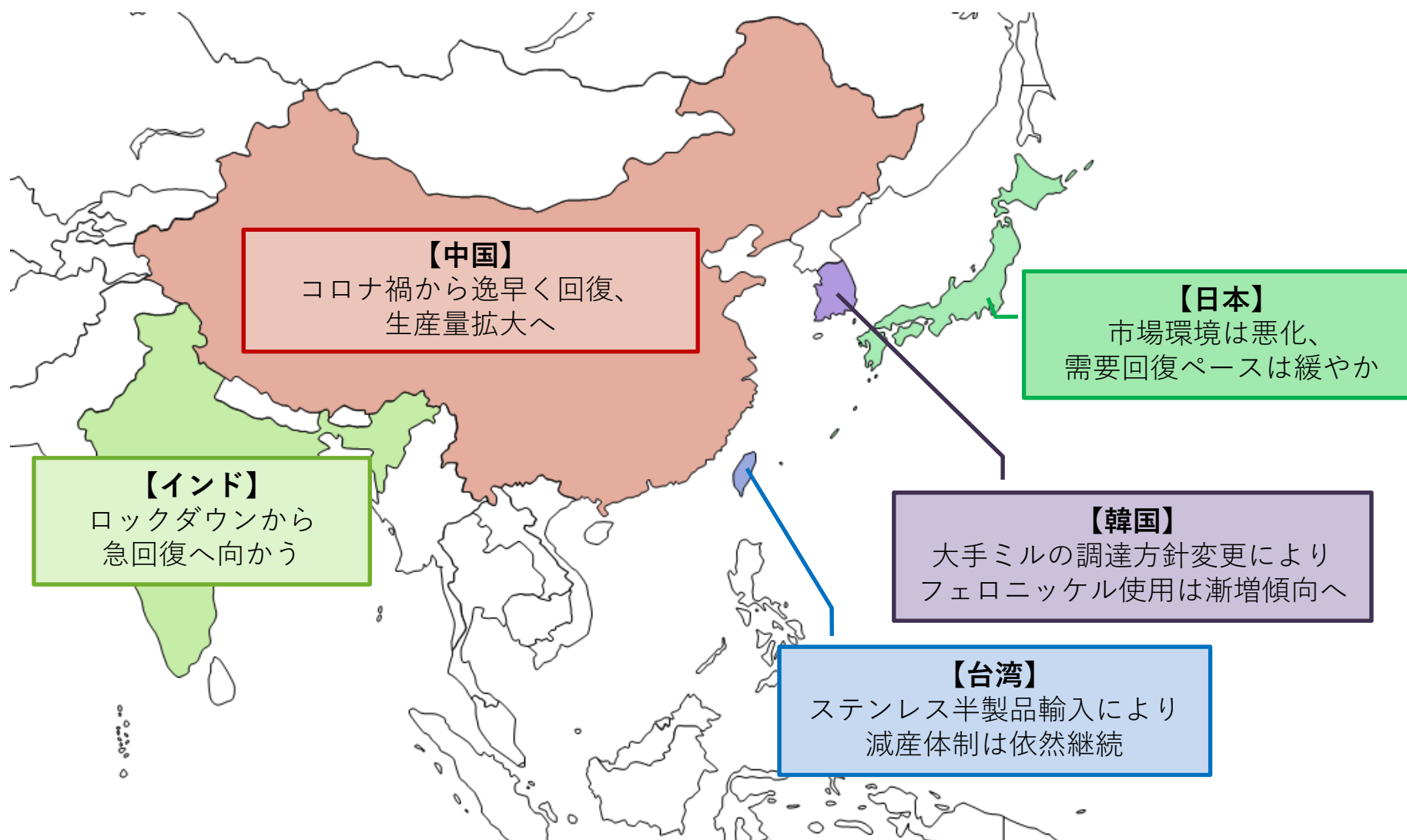


(1) 通期決算見通し

	2020.3 実績		2021.3 予想 (8/7発表)		2021.3 予想 (10/30発表)		対 前期比 (%)	対 8/7発表 予想比 (%)	トピックス
	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)			
売上高	44,133	—	33,307	—	33,342	—	△24.5	0.1	<p>■売上高 ステンレス市況の環境変化に加え、感染症による需要収縮等の影響で前期比減。前回予想同様、大幅な環境変化はない見込み。</p> <p>■損益 販売数量減、原料価格上昇等業績下押し要因あるものの、たな卸資産の評価の改善もあり増益見込み</p>
営業利益	△1,879	△4.3	△758	△2.3	△1,189	△3.6	—	—	
経常利益	972	2.2	1,201	3.6	1,439	4.3	48.0	19.8	
親会社株主に帰属する 当期純利益	625	1.4	1,034	3.1	1,397	4.2	123.4	35.1	
(投資額)	530	—	—	—	1,737	—	227.7	—	
(減価償却費)	330	—	—	—	390	—	18.2	—	

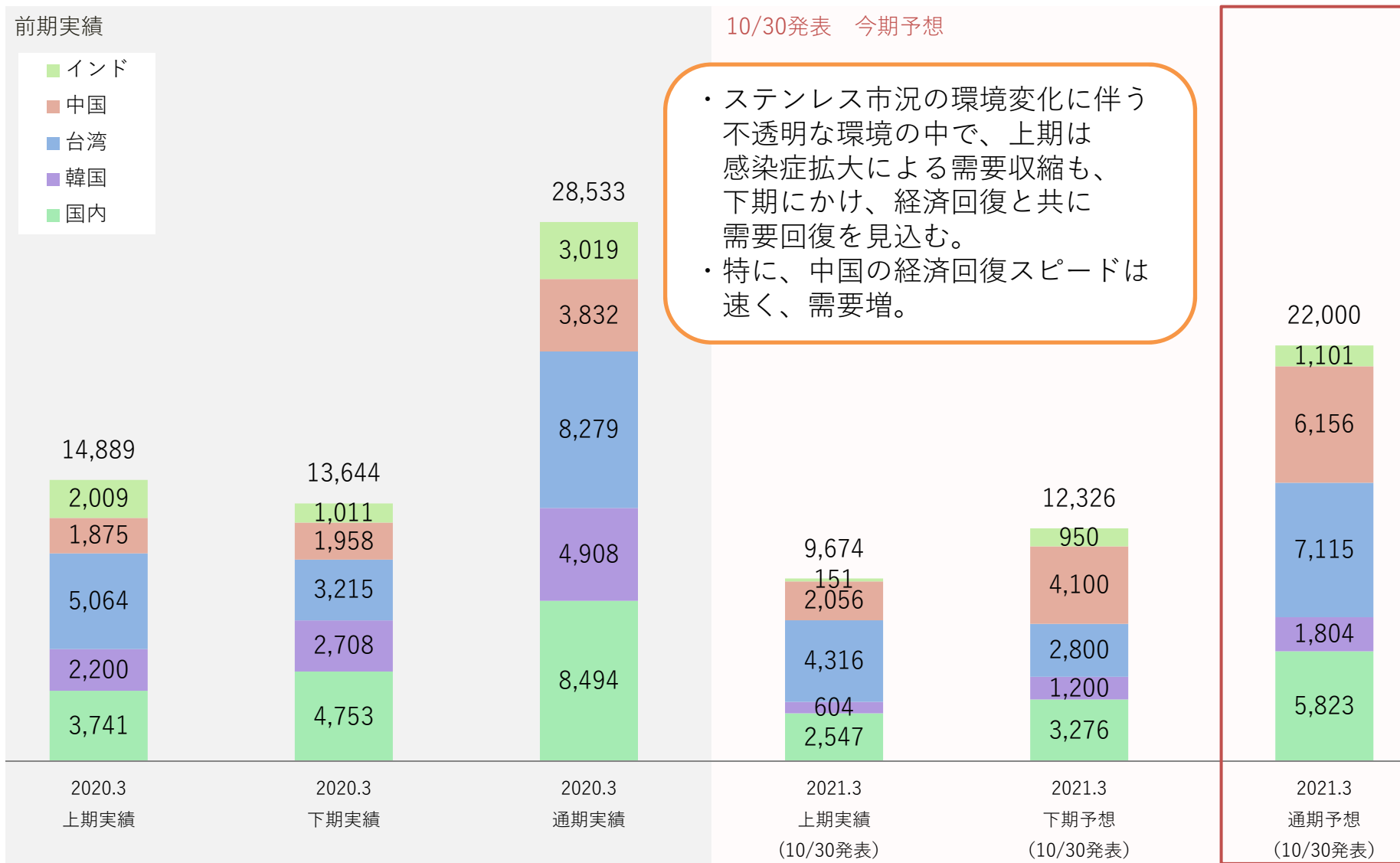
	2020.3 実績			2021.3 予想 (8/7 発表)	2021.3 予想 (10/30発表)			対 前期比 (%)	対 8/7発表 予想比 (%)	トピックス
	上期	下期	通期		上期実績	下期予想	通期予想			
生産数量 (Niトン)	16,271	14,614	30,885	19,920	9,374	10,390	19,764	△36.0	△0.8	<p>■生産・販売数量 販売環境の急変に対応し、顧客動向等を踏まえ減販へ</p>
販売数量 (Niトン)	14,889	13,644	28,533	22,000	9,674	12,326	22,000	△22.9	0.0	
適用LME (\$/トン)	13,007	14,793	13,867	13,250	13,095	14,286	13,757	△0.8	3.8	
[適用LME (\$/lb)]	[5.90]	[6.71]	[6.29]	[6.01]	[5.94]	[6.48]	[6.24]			
適用為替 (¥/\$)	108.52	108.45	108.49	108.84	106.06	106.28	106.18	△2.1	△2.4	

(2) 国別販売先の動向

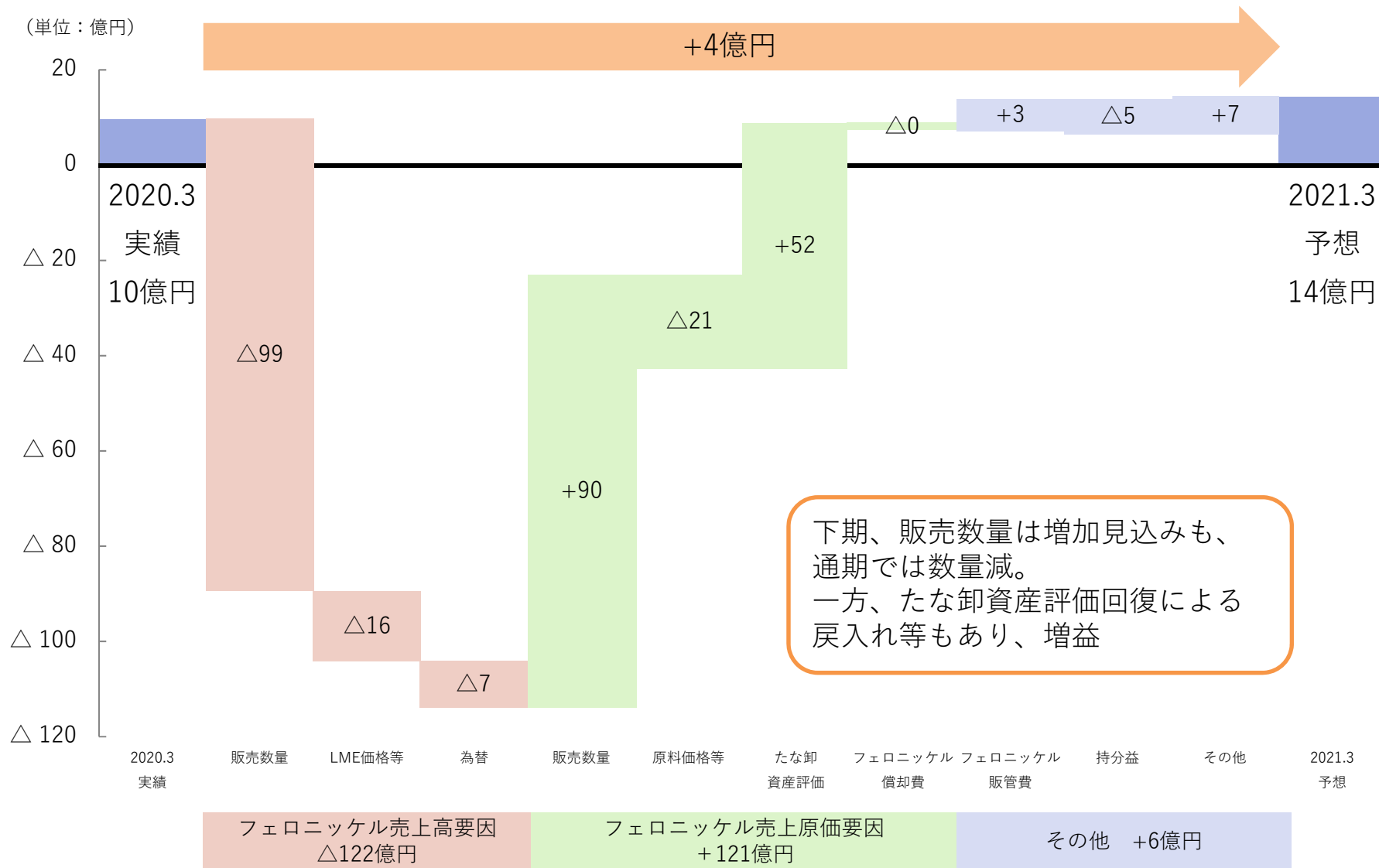


(3) 国別販売見通し

(単位：Niトン)



(4) 連結経常損益分析



4. 中期経営計画 「PAMCO-2021」の進捗状況



(1) 主な重点施策の進捗状況まとめ

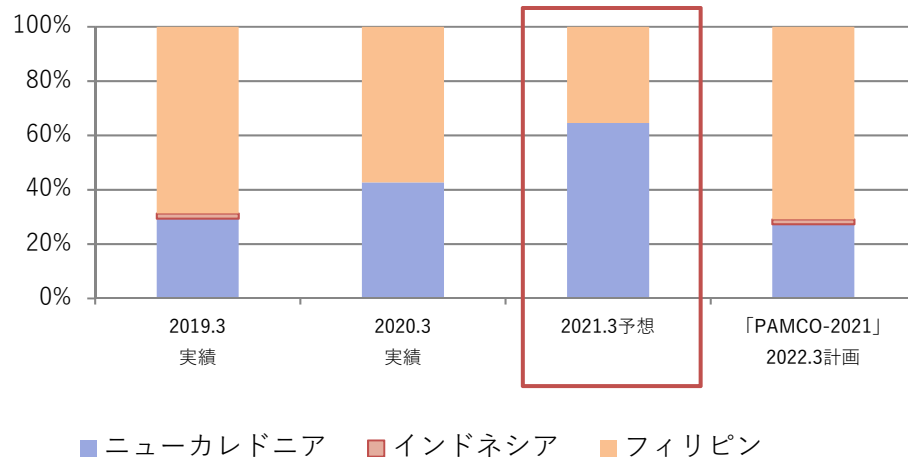
<p>① 最適生産体制構築のための「設備」の強化と「鉱石」の安定調達</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化設備の計画的更新 (6号電気炉のトランス更新計画通り進捗) ・新規鉱山開発及び鉱山権益獲得に向け、東南アジア、南太平洋の案件を調査中
<p>② 海外事業展開を視野に入れた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海外パートナー候補との事業化検討並びに事業性評価は、コロナ禍による制約で遅延が生じるも、着実な前進を見せている
<p>③ 国内事業の多角化 (新規事業への取り組み)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・湿式製錬技術を活用した、Fe-Ni以外の製品製造の検討を継続 ・リサイクル事業の拡大に向けた検討の前進 <ul style="list-style-type: none"> ➢リサイクル溶融メタルの新規用途を開拓 ➢スラグ製品化技術の更なる研究開発に着手
<p>④ 収益力の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・LMEニッケル価格の変動リスクに対する対応 ・あらゆるコスト削減を継続的に実施 (約4億円の削減効果) ・ニッケルを含むリサイクル資源の活用による製造コストの低減 ・廃棄物溶融処理技術向上による操業コストの低減

(2) 鉱石調達について

長期契約先	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3
■ リオ・チバ・ニッケル社 (36%出資)				契約期間：2019.7～2023.12 (4年6カ月間)	
■ タガニート社 (33.5%出資)				契約期間：2019.7～2023.12 (4年6カ月間)	
■ カグジャナオ社				契約期間：2019.7～2023.12 (4年6カ月間)	
■ MKM社 (1)	契約期間：2014.1～2023.12 (10年間)				
■ MKM社 (2)	契約期間：2016.1～2025.12 (10年間)				
■ モンタニア社	契約期間：2016.4～2026.3 (10年間)				

■ フィリピン ■ ニューカレドニア

調達割合



ニッケル鉱石調達について

- ・ インドネシア鉱石は2014年1月に禁輸実施、2017年1月～2019年12月まで一時禁輸緩和。その後、2020年1月より禁輸再開。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の影響で、フィリピンでは一部のニッケル鉱山が一時操業を停止したものの操業・出荷状況は回復基調。
- ・ 継続した鉱石調達方針として、ニューカレドニア鉱石の調達割合拡大を推進

(3) ESGへの取り組み

環境 Environment

- フェロニッケルスラグの全量リサイクル化による循環型社会への貢献
- 製造設備の改良及び廃棄物処理技術の向上による環境負荷低減を推進
- リサイクル事業における優良産廃処理業者認定（2020年9月）

社会 Social

- 復興道路（三陸沿岸道路）へのフェロニッケルスラグ土木資材の供給
- 八戸市への新型コロナウイルス対策資材の寄贈
- 「はちのへクリーンパートナー制度」に登録し、工場周辺や地域の清掃活動を実施

ガバナンス Governance

- コーポレート・ガバナンスの充実・強化
- 統合マネジメントシステム（IMS）の活用による法規制遵守

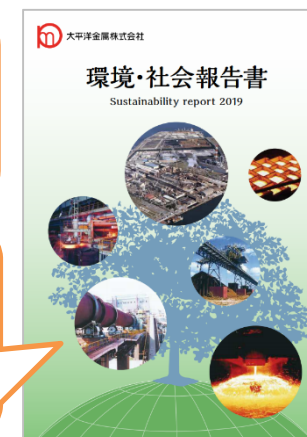
2021年3月期
第2四半期
トピックス



2020年7月、
八戸市への消毒液の寄贈
◀八戸市長(写真左)、
当社取締役 猪股(写真右)

2020年12月、2020年度版
環境・社会報告書発行予定
<https://www.pacific-metals.co.jp/environment/report.php>

画像は2019年度版▶



すべてのステークホルダーの信頼に応えるため、事業活動を通じて社会・地域の課題解決に貢献しながら、新たな価値を創出し、持続可能な社会の実現を目指す

(ご参考) 中期経営計画「PAMCO-2021」と実績値(予想値)との比較

21

「PAMCO-2021」期間 計画値 (2019年5月10日発表)	(単位:金額 百万円)	2020.3 計画	2021.3 計画	2022.3 計画
	生産数量 (Niトン)	33,000	29,000	32,500
	販売数量 (Niトン)	32,000	31,500	32,000
	適用LME (\$/トン) [\$ /lb]	13,691[6.21]	14,330[6.50]	14,837[6.73]
	適用為替 (¥/\$)	109.72	109.73	109.72
	売上高	50,816	51,872	55,097
	営業利益	391	△271	2,650
	経常利益	3,136	2,377	5,340
	親会社株主に帰属する当期純利益	2,872	2,020	4,876
	投資額	1,887	4,688	4,132
減価償却費	330	408	515	

「PAMCO-2021」期間 実績値(予想値)	(単位:金額 百万円)	2020.3 実績	2021.3 予想 (2020/10/30発表)	
	生産数量 (Niトン)	30,885	19,764	
	販売数量 (Niトン)	28,533	22,000	
	適用LME (\$/トン) [\$ /lb]	13,867[6.29]	13,757[6.24]	
	適用為替 (¥/\$)	108.49	106.18	
	売上高	44,133	33,342	
	営業利益	△1,879	△1,189	
	経常利益	972	1,439	
	親会社株主に帰属する当期純利益	625	1,397	
	投資額	530	1,737	
減価償却費	330	390		



大平洋金属株式会社



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。
